

若い力で変わるぶどう産地の取組

丸草出荷組合（岡山市東区草ヶ部778-1）

TEL：086-297-5800 / URL：https://marukusa-grapes.com



◀ 岡山の魅力発信 ▶

HPはこちら ▶



令和8年1月13日現在



経営概要

経営面積	ぶどう（12 ha（ピオーネ、シャインマスカット、紫苑など）
事業内容	新規就農希望者に対して、地域の組合員から提供される維持・管理が難しい園地情報を元に、未収入期間を短くできる居抜き栽培を提案することで、新規就農の受け入れを実現。
代表者	組合長 三藤 一幸
労働力	組合員：55名 パート：3名



丸草出荷組合のロゴマーク

取組の経緯

岡山市東区に位置するぶどうの生産・出荷に取組む組合で、明治44年より活動をスタート。近年、担い手の高齢化を背景に、新規就農者の受け入れに取組む。



取組内容

ぶどう生産の高度化	・ピオーネを中心に、ぶどう栽培の生産拡大に取り組む中、近年の温暖化による着色不良対策として、施設栽培における被覆・遮光・換気・温度管理の自動化などに取組む。
販路多角化	・関西圏を中心に市場出荷や直接販売や共同でのECサイト販売に取り組む。また、物流の制約がある中で、関東圏向けの試験的出荷を実施中。
新規就農者の育成	・一定程度の資金を準備した新規就農希望者に対して、1年間の栽培技術の研修を行い、2年目に就農させる研修制度を実施。 ・担い手の高齢化を背景に、維持管理が難しい園地を新規就農者とのマッチングを推進。 ・これまで、IターンUターンなどの希望者を受入れ、7名の就農者が定着。



ぶどう棚



今後の展望

- ・新規就農者に対して、栽培技術の指導と伴走型の支援を行い、安心して独立できる環境を整備したい。
- ・出荷量が減少すると、トラック輸送は積み合わせとなり運賃が高騰するので、これを防ぐため、出荷量を増加させ、チャーター便での輸送が可能な体制を目指す。



組合長と研修生たち（右端：三藤組合長）